ゆめクラブ大和

対話と笑顔で
明日を開こう

第86号

■ 令和７年１月 15 日発行 ■

発行：大和市シニアクラブ連合会
〒242−0004 大和市鶴間1丁目25番15号
（大和市役所第2分庁舎内）
☎046（260）5654（代）

編集・印刷　㈱博報社関東本社
神奈川県厚木市愛甲1−8−39
☎046（280）6001（代）

身延山久遠寺

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

新年のごあいさつ

大和市シニアクラブ連合会　会長　菊池　信良

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和6年皆様にとってどのような年だったでしょうか？新年早々に起きた石川県能登半島地震で大きな被害を受けその復興がまだ出来ていない所に、9月に発生した能登半島豪雨、相次ぐ災害にかける言葉も見つかりません。被災された皆様の安全と一日も早い復興を願うのみです。

昨年の夏は異常な暑さでしたね。皆さん体調をくずしたりしませんでしたか？

大和市シニアクラブでは令和6年も色々な行事を行いました。グラウンドゴルフ大会、春の親睦旅行（伊勢神宮方面一泊二日）、趣味の作品展（シリウス）、友愛チーム研修会、スポーツ大会、マンドリンコンサート、秋季親睦旅行（下部温泉郷一泊二日）、ピアノと歌と朗読のコンサート、ウォーキング大会等、とりわけシリウスで開催した今回の趣味の作品展は会場も昨年より広くゆっくり見学が出来たことと思います。ご協力ありがとうございました。

さて、大和市シニアクラブが今かかえている問題は会員の減少です。ますます高齢化社会になっている中で会員数の増加を図るには、色々な方法があるとは思いますが、まずシニアクラブがどういうものか、何をしているのかを知ってもらい仲間に入ってもらうことから始めなければと思います。

シニアクラブのモットーは「明るく、楽しく、元気よく」です。楽しい「趣味活動」、いきいき「健康づくり活動」、高齢者が交互に支える「友愛活動」、きれいな安心安全な地域を子ども達へ「奉仕活動」など、私達が出来ることを少しずつやっていくことが大きな力となっていくと思います。これからもシニアクラブ連合会の発展のためご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年が皆様にとって明るく幸せな年になりますよう元気に頑張りましょう!!

新年のごあいさつ

大和市長　古谷田　力

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、市政への多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私が第18代大和市長に就任してから今日まで、市民第一主義の市政、こどもから高齢の方まで立場や境遇に関わらず、皆様がウェルビーイングを実感できるまちの実現に邁進してまいりました。日々、様々な課題の解決に取り組んでおりますが、全国と同様に本市においても高齢者の人口は年々増加していることに加え、多様に変化している社会状況を目の当たりにし、今までの手法を継続させるだけでは対処できないことを強く意識するようになりました。

そこで本市では、加速する高齢化において生じる問題などを解決するために、これまでの制度や分野の垣根を越えた取り組みを推進させ、心身ともに健康な高齢者、そして何らかの支援を必要とする高齢者も、自分らしくいきいきと充実した毎日を送ることができるよう、様々な取り組みを進めております。

その一例として、前年4月から、高齢、障がい、子育て、生活困窮といったそれぞれの窓口を『福祉ここから相談窓口』と位置付け、複合的な福祉課題の相談を受けた場合に、各関係機関が連携し、一体となって支援の方策を考えていく取り組みを始めました。

また、年を重ねても、住み慣れた地域で住み続けられるまちの構築には地域の繋がりが非常に重要であり、その繋がりを広げるため、長年にわたり地域の活性化に貢献されてきた単位クラブ、そして貴団体のご支援・ご協力が不可欠と考えております。

本市では、今後も地域における皆様の活動を支援できるような福祉施策の充実を図ってまいりますので、引き続き、本市の福祉行政並びに市政へのご理解とご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

結びになりますが、ゆめクラブ大和の益々のご発展と、新しい年が素晴らしい一年になりますよう会員皆様方のご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

令和6年度表彰関係一覧

令和6年度全国老人クラブ連合会活動賞

・花みずきの会（会長　棟長　壽雄）

神奈川県高齢者福祉関係功労者等表彰（知事）

◇老人クラブの活動が活発で他の老人クラブの模範となる単位老人クラブ

・第三寿楽会（会長　岡松　弘純）

神奈川県老人クラブ連合会表彰（理事長）

◇単位老人クラブ

・長堀長和会（会長　牧野　正弘）
・善光明ジャンプ会（会長　菊地　正夫）

◇単位老人クラブ会長

・岡松　弘純会長（第三寿楽会）
・鈴木　正昭会長（一之関寿会）
・石川　創一会長（富士美会）

◇友愛チーム

・新和会友愛チーム（会長　増　正之）

◇会員増強特別賞（会員の加入促進に努め、新規会員が前年の会員から10％以上増加したクラブ）

・みよし会（会長　髙柳　宏幸）
・久友会（会長　小田　徹弥）
・第一大鶴会（会長　太田　正信）
・健康クラブ福柳会（会長　平井　信五）
・桜友会（会長　宮﨑　文夫）

・第二寿楽会（会長　北島　明）
・中央林間東寿楽会（会長　小林　直樹）
・夢クラブ要石（会長　萩原喜久男）

神奈川県美化運動推進功労者表彰（知事）

◇団体

・善光明ジャンプ会（会長　菊地　正夫）

神奈川県環境保全功労者表彰

◇美化運動功労

・札の辻クラブ（会長　保田　博）

花みずきの会（棟長　壽雄会長）が、令和6年度全国老人クラブ連合会活動賞を受賞しました。この賞は他の範とするにふさわしい先進的な取り組みを行っている活動に対し贈呈されるものです。今回、友愛チームをはじめとした花みずきの会のこれまでの活動が、全国的に評価されたということは、とても素晴らしいことです。関係者の皆様、おめでとうございました。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

令和6年度 県央ブロック
単位老人クラブリーダー・新任会長等研修会

9月26日㈭シリウスにおいて「令和6年度 県央ブロック 単位老人クラブリーダー・新任会長等研修会」が行われました。

今年の研修会は午前の新任会長等を対象にした研修会と午後に大和市主催の「認知症シンポジウム」に参加する研修が行われました。県央地区を対象にした研修会であり、県央各市から多くの参加者がありました。参加者の皆さんは講師の話を熱心に聞いていました。

内容（午前）

講演1：「老人クラブの運営・活動状況について」
講師：神奈川県老人クラブ連合会　事務局　松田　冴子氏

講演2：「花みずき友愛チーム～互いに助け合う友愛助け合い」
講師：花みずきの会　副会長　熊谷　順子氏

講演3：「みよし会の活動について～会員増に向けた取り組み」
講師：みよし会　会長　髙柳　宏幸氏

出席者数：50名

内容（午後）

認知症シンポジウム　認知症と手をつなぐ～私が見つけた小さな幸せ～をテーマに行われました。

基調講演：安心して認知症になれる社会を目指して
～1人ひとりのマイクロハピネスをみんなのウェルビーイングに～
講師：堀田　聰子氏（慶應大学大学院大学教授）

パネルディスカッション
登壇者　堀田　聰子氏
市内在住の認知症のある方2名
活動をともにする方1名
地域包括支援センター職員　大和市職員
認知症のある方からの事例報告と、意見交換
出席者数：120名

（総務部長　石川 創一）

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

趣味の作品展2024

令和６年は、シリウスギャラリーを全面使用しての開催となりました。出展数171点、約670名の方にご来場いただきました。準備には、暑い中、出展者ご本人、たくさん預かってこられた会長さん、女性リーダーの皆さまのお力で始まりました。展示は、事前に、南林間在住の博物館学の浜田先生にアドバイスを受け、素人集団で、ああでもないこうでもないとにぎやかに行いました。皆さまいかがだったでしょうか。前年の窮屈なものより少しはましと自負しています。会期中は、色々な方にお会いしました。シリウスを視察にこられた四万十市の議員さんや職員の方々。楽しい交流ができました。また、期末試験の勉強に来ていた高校生にもお声をかけてみたところ、「マジヤバイ！信じられない」を連発。身近に物作りをする方がおられないのか、とても興味深く見て回ってくれました。

初めて出展してくださった方、ベテランの方、クラブで活発に活動されているところ、様々ですが、令和７年度も、シリウスギャラリー全面お借りできましたので、たくさんの方々のご出展とご来場をお待ちしています。会期は7月18日㈮～22日㈫までの５日間です。お孫さんたちにもお会いするのが楽しみです。事務局はじめ、常任理事、会長の皆さま、女性リーダーの皆さまには、またお世話になりますがどうぞよろしくお願いいたします。　（女性部長　太田 恵子）

茅ヶ崎、藤沢のゆめクラブのお友達も見に来てくれました。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

おたのしみ講座

マンドリンコンサート

令和6年10月17日㈭　参加者数：180名

久しぶりで、保健福祉センターを会場にしての開催となりました。たくさん集まっていただけるか心配しましたが、用意したプログラムがなくなるほどの大盛況となりました。

オープニングは「丘を越えて」で軽やかに。耳に懐かしいシャンソンや、「城ヶ島の雨」などは、本当に雨を感じる演奏でした。ミュージカルメドレーも最高でした。映画「南太平洋」「サウンド・オブ・ミュージック」「ウエスト・サイド・ストーリー」など、青春の旅を楽しむことができました。

第二部は、マンドリンをバックに皆で大合唱。「街のサンドイッチマン」「夢芝居」など、普段あまり歌わない曲もあり、とても刺激になりました。特に、「無法松の一生」では、97歳の日高さんによるギタロンでの太鼓さながらの演奏には、皆驚き、感動しました。勇気をいただいたと思います。

アンコールでの「青い山脈」を思いきり歌って大満足。ゆめクラブとしては、3回目となりますが、初めて参加された方も、おなじみの方もとても喜んでお帰りになりました。クリスタルマンドリナーズの皆さま！ありがとうございました！

第47回 ゆめクラブ大和スポーツ大会

日時　令和6年10月3日㈭
開会9時30分　閉会12時15分

会場　大和スポーツセンター体育会館　第1体育室

参加者数　41クラブ　379名

総合順位
第1位　第1ブロック
第2位　第7ブロック
第3位　第6ブロック

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

秋季親睦旅行

～富士山をながめ自然を感じた下部温泉の旅～

恒例の秋の旅は10月21日㈪から22日㈫の1泊2日、31名の参加で天候にも恵まれました。1日目は三嶋大社へお参りし、富士山麓の柿田川湧水群と美しい公園の散策、富士五湖を巡り、宿泊は山梨県の下部温泉でした。2日目は身延山久遠寺参拝へ、自動運転のケーブルカーは初体験、少し色づいた山々でした。

参拝の後は清水港で買い物の後、華やかな二段重ねの弁当を食べながら40分ほどのランチクルーズで運良くイルカに出会いました。最後はみかん狩り（土産付）、詰め放題に挑戦した人もあり楽しんだようです。

帰りは少し渋滞がありましたが、予定通り、17時過ぎには保健福祉センターに到着。時間に追われない余裕のあるゆっくりした行程で、他のクラブ会員との交流もあり、楽しい時間を過ごすことができたと思います。

最後に名物ガイドさんのこと。見事なお話で歴史、地域、芸能などあらゆる出来事に精通し、飽きることなく私たちに語りかけるガイドさん、終始盛り上がり楽しさ100倍でした。

（副会長　熊谷 順子）

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

県央ブロックニュースポーツ交流のつどいに参加・感想

開催日時　令和6年8月27日㈫10:30～15:00
会　　場　座間市立市民体育館（スカイアリーナ座間）
主　　催　ゆめクラブ神奈川県央ブロック連絡協議会
参 加 者　厚木市 4名・大和市 4名・海老名市 欠席
綾瀬市 4名・愛川町 4名・清川村 4名
座間市 15名・その他関係者・応援者など
50名前後の参加者で行われました。

競技内容は、ニュースポーツのボッチャ。
2チームが、交互に、目標球へ赤・青の球を近づける競技。
競技内容　8チームをA、Bの2ブロックに分けて予選会。
大和市はAブロックで、予選会は2位通過で決勝へ。決勝戦は、4チームで行われました。大和市は、僅差で、破れ3位決定戦となった。

最終結果
1位　厚木市
2位　座間市
3位　大和市

感 想

大和市チームは、渡部　豊（第一大鶴会）・吉田　祐三（若草クラブ）・平井　信五（健康クラブ福柳会）・濱島　明生（事務局）

私自身、初めての参加で、初めて行う競技でした。最初は、不安でしたが、メンバーのアドバイスを受け入れながら競技をすることが出来ました。ルールもわからないままでしたが、競技をしながら何となく理解し熱くなることもありました。対戦チームによっては、大差で負けることもありました。僅差ながら、予選会を通過しましたが、残念ながら僅差で負けで、3位の結果でした。僅差で敗れて残念ですが、満足しました。

参加メンバーは、男女混合チーム・女性チーム・男性チームで構成されて、中には、経験豊かなメンバーがいて、関心する場面もありました。男女経験を重ねることで、年齢のギャップは、あまり気にすることがないと感じました。

次回開催が、大和市と伺いました。又ボッチャ競技のルールを勉強したいと思いました。参加メンバーは、男女平均80歳前後（平井の感想）と思われ、熱いパワーを感じました。今回、県央ブロックニュースポーツ交流のつどいに参加させていただき感謝しています。次回もこのような集いがあれば、参加をしたいと思いました。

ありがとうございました。

2024年8月28日
第5ブロック・健康クラブ福柳会
平井　信五

クラブ紹介

サークル活動「歌いましょう会」

千本桜千寿会　坂口　芳巳

発足の発端となったのは20数年前の同級生からの一通のハガキでした。案内にあった同窓会には勿論参加しました。幹事の計らいで歌仲間が集まり、懐かしい童謡唱歌を合唱し、感動の涙を流したことは良い思い出です。その貴重な体験から、大人が歌っても十分楽しめる童謡コーラス部を立ち上げることにしました。

まずはパートナー（代表）探しです。シャンソン歌手を目指して勉強されている方にお願いしたところ、快く承諾して頂き、早速2人で具体的な活動方針が決まりました。会則作成に必要な名称、目的、会費、活動内容、役員等が決まり、平成27年（2015）7月に正式に発足しました。同時に会員を募集したところ、29名の方々に応募していただきました。

活動プログラムは代表の発案で、①発声練習、②会のテーマ曲（スコットランド民謡「広い河の岸辺」の替え歌）（歌いだし：心は若く歌が好き仲良く楽しんで行こう歌にあこがれ集まって楽しく歌いましょう…）、③童謡唱歌、昭和の歌謡曲、最後に名曲④今日の日はさようなら、となりました。ピアノ伴奏は、独学で学ばれている方に依頼して進められました。そして、童謡をもっと楽しく歌うため、時には音楽の先生にレッスンを受ける方向に決まりました。歌の合間には、童謡CDを聴いたり、サザンオールスターズ特集をしたり、得意なシャンソンを歌唱してもらったりして皆を楽しませていただいています。

日頃の練習の成果を発表する場所として、自治会行事の田中八幡宮例大祭、子供文化祭、ゆめクラブ大和第7ブロック演芸会等に出演させていただき、健康と適度な刺激を求めて活動させていただいています。特に、ユーチューブ「やまと千本桜商店会」でも発信されているご当地ソング「千本桜」は、一般募集した歌詞を基本に作詞、作曲NPOの先生に依頼して完成した曲です。世代を超えて歌い継がれていって欲しいので子供文化祭で歌わせて貰っています。

あれから、早くも10年目を迎えました。こんなに長く持続できたことは代表とピアノ伴奏の方の並々ならぬ努力、歌に対する愛情、そして支えていただいた多くの方々のお陰と痛感しています。立ち上げた一人として心より感謝し、いつまでも元気で楽しい童謡コーラス部を持ち続けたいと思っています。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

地域に根ざした活動を目指し

長堀友愛チーム　佐藤　忠子

私は自営業を40数年続けてまして、地域の活動はほとんどしていませんでした。そんな時、店に来て下さっていたお客様の推薦で民生委員を12年させていただき、その後地区のボランティア・老人会の副会長などしてきましたところ、友愛会の代表を受けるようにと言われ、最後のお勤めかと引き受けることになりました。ところが今迄のメンバーはほとんど辞めると言われ、さて困ったとそこで私の知っている限りの友愛会の意義と活動を話し、8名のメンバーを作りました。

そんな時令和4年のブロック会の席で支援金の手続きをすれば、12万円もの大金がもらえると聞いたことを思い出し、インターネットのできる人にお願いをし、幸いなことにいただくことができました。さっそく長堀長和会の花見に弁当・飲み物を差し入れ・設営の手伝いもして、ミニサロンのバス旅行にも昼食代を出したり、また外出できない方にはふれあい訪問や民生委員の方達が伺っているので、おしつけにならないようにと電話で安否確認をするようにしました。

地区の皆さんに友愛会とは何をする会なのと言われましたので、なやみ・苦しみ・チームの皆さんと相談しました。長和会やミニサロンでできないことをしようとなり、私がいろんな所でお知りあいになり、お世話になっていました、カモの会の鴨下禎子先生に相談をし、簡単で健康でいられる体操をしていただくことになりました。さっそく自治会の掲示板にも貼って、地区の皆さんに参加をと声かけをしましたところ、喜んでくれましたので、次には無理を承知で大和の歌手の坂本幸子先生と鴨下先生、渡辺さんをお願いして、歌と踊りを見たり、聞いたり、みんなで合唱したりとその後奮発して、美味しいコーヒーとケーキでおしゃべりの席にしました。皆さん「良かったよ」と言ってくれ、少しずつ友愛の活動を理解してもらえたかなと思います。

チームの皆さんがとても良く協力してくれますのでもっともっと良い企画をたてて、地域の方々が健康でいつまでも楽しい日々を送れる、そして友愛チームの活動が地域に根ざした活動となるようにしていきたいと思います。

会員のひろば

留守中のドロボー対策

第二喜楽会　瀬沼せつ子

離れた家族の状況を把握する。実家には高齢の親二人または一人で住んでいるような場合は最新の防犯に沿って一度実家を点検してみることにしましょう。窓に面格子が入っているか確認してみる。また、インターホンは最近の物か？尋ねてみるのも良い。玄関のドアがすぐに開くのは良くない。宅配に気を付ける。知らない人を家の中に入れないこと。またお店で買物をした時ポイントカード、顧客リストなどに登録しないこと。家の近くに不審な車などが停車してないか見ることも。不審に思ったら警察に伝えて巡回してもらうなど相談したい場合は#9110が窓口になってくれるようです。防犯意識を高めよう。昼間に外出する時は厚手のカーテンはしないこと。レースのカーテンにして家の中に人がいるように見せること。ラジオなど付けておいても良い。警備中のステッカーを貼るのも良い。男物の靴を外に出しておくなど簡単にできるものを用意。宅配業者が来た時は良く見て出ること。宅配ボックスを使うのもよい。ユニホームにだまされないように鍵かけを忘れないよう注意。短時間でも油断しないよう気をつけましょう。

日本全国安全な場所はない。特殊詐欺は事前に名簿や情報などを入手して下見をし実行に移す。自分の個人情報を人に教えない。狙われるのは高齢者だけではない。ターゲットにならないように。近頃は治安の悪い話ばかり。最新の防犯について考えてみましょう。

79年

宮久保クラブ　科内　章平

先日、ある雑誌で慶応4年の江戸城無血開城を実現させた勝海舟と西郷南洲の二人の談判の様子を読んだ。当時の江戸は百万都市であり、この二人の談判の結果次第で江戸は血の海になっていた可能性がある。そうなれば近代日本の姿はまた別のものになっていたはずである。それから70年余りの昭和20年8月15日は日本が連合国のポツダム宣言を受諾して終戦した日である。原爆を2回も投下され多大な犠牲を出して漸くという感であり、今から79年前のことである。

私の父は20歳頃に今の中国東北部に満豪開拓団の一員として大陸に渡っている。当時の長野県の農村の次男三男は新開地に夢を抱き、同郷の仲間と出身地の分村を作り開拓に勤しんでいたようである。しかし、終戦を直前にソ連兵が南下し父も分村の近くに造られた収容所に囚われの身となったが後になんとか帰国できたようである。当時の事を殆ど語らなかったが着の身着のまま帰国せざるを得なかった状況の中で、唯一自分の名字のハンコ一個を体に隠し持ち帰ったと言っていた。

今年も終戦を特集し様々な記事を目にしたが、特に気になる内容があった。戦争を終結させる困難さと、漫画家のちばてつや氏が言っていた「戦争という渦潮に巻き込まれたら簡単に抜け出せず、どんなに優しい人も鬼にしてしまう。」と自身が満州からの引き揚げを経験した中での言葉である。そんな事を思いながら、私は父が多くを語らなかったのではなく余りにも悲惨すぎて語ることができなかったのだと今になって感じる。そして私が私の子や孫にこうして会えるのは当時を生抜いてくれた父母のおかげである。それを語ることが私のできる小さな平和への行動であり、父母への恩返しである。その事が、その悲惨な状況の中で犠牲になった方々への供養である。命以上の宝がこの世にあるはずがない。

厨房に入る男子 ー崩れず柔らか「かんたん煮魚」ー

第三寿楽会　岡松　弘純

赤メバルとシシトウ

材料：好きな魚（切り身でも丸ごとでも可）・薄切りにしたショウガ少々・日本酒310cc・しょうゆ90cc・砂糖大さじ1

道具：フライパン（深めがベスト）・フライ返し・アルミホイル

調理方法：

①フライパンに材料をすべて入れます。

②アルミホイルをドーム状にして、材料の上からそっとかぶせます（ドーム状にしたアルミホイルが、フライパンからはみ出さないようにしてください）。

③ここで火をつけ、強火で10分間煮ます（吹きこぼれない限り強火のまま・この間、アルミホイルを外さないようにしてください）。

④10分経ったら火を止め、魚をフライ返しで皿に盛りつけます。

この料理の特徴：水を使わず日本酒としょうゆだけですのであっという間に沸騰し、その泡がドームの中をグルグル回りますので、汁に浸かっていない身にも十分火が通ります。途中でひっくり返すこともありませんので、身が崩れることはありません。また、水を使わないせいか、煮あがった魚はふっくらと柔らかです。

男性会員の方からお料理のレシピを募集します。ぜひ、投稿してください。

人生店じまいこれまた楽しからずや

粋生クラブ　宮崎　汎

そろそろ終活をせねばと思い至り身辺整理を始めた。書斎は長年月かけて収集した資料の山で足の踏み場もない。現役を退いた身であり雑然と積み重なった資料を眺めながら、この先利用することもなかろうと廃棄に励んだ。

手に取る資料には、いずれにも思い出があり用済みとはいえ捨てるに忍びなくちょっとせつなかった。撮りためた写真のアルバムがこれまた山積みとなっているがゴミとなった写真も多い。

これまで公私にわたり海外へ出かけるチャンスに恵まれたが、平素日記などしたためる習慣が無いのに、日本を離れると自分でも驚くほど詳細な記録をとることがいつの間にか習いとなっていた。海外記録を書き溜めた20冊を超えるノートには未練を感じ捨てがたく手元に残した。

現役を退き時間に縛られる生活から解放され、解き放たれた自由を満喫していたが、ふと規則正しい以前に比べ毎日の生活がだらしなくなり、これではいけない何かせねばと自堕落な自分に鞭打った。

すっきり整頓された書斎にこもっていると、ふと残したノートにしたためた膨大な記録と写真を利用して何か書いてみようと思いついた。図らずも自身の備忘録にもなるし・・・さて何を切り口に書こうかと思考が俄かに回転し始めた。そしてそうだ海外では様々な歴史の舞台を垣間見てきたし、若かりし頃よく見た洋画の世界へも訪れているではないかと思い至り「歴史の舞台・映画の世界」を切り口に作文してみようと思い立ったのである。

作文をしたためていると思いがけなくも、その時々の生活、仕事や出会った人々との交流など懐かしい過ぎた日が一緒になって浮かび上がり、改めて自分の越し方を偲ぶことができたのである。

記憶が曖昧となり不確かな部分があると図書館へ出向くなど資料を漁ることもしばしばで、さらにいつものことながら書く緊張も重なり、何やら現役時代に立ち戻っていくような心地がして、よし100篇まで書いてみようと大きな負荷を自分に課した。しかし目標達成は思いのほか大変であった。

だが得るものも大きく改めて歴史や偉人たちに学び、心に残る映画の世界を彷徨することが出来た。また書き上げた作文はその都度、勝手にメル友たちに送り付けたのであるが反響は思いのほか大きく、寄せられる感想や人様の生きざまに、多くの刺激を受けながら目下満ち足りた日々をおくっている。

「平和を願う！折鶴の塔」を終えて

高砂会　髙橋　賢司

8月15日は終戦記念日と称され世界の要人が一堂に会して、「核兵器廃絶」「世界平和」と祈りを捧げています。

私たち「高砂会」も同じ思いを抱いています。世界平和、日本の平和、特殊詐欺に遭わない平和、学校では暴力やイジメのない平和など、そんな全ての平和を託して高座渋谷駅の東口及び西口広場に22，000羽の「折鶴の塔」を建てました。

初日の8月11日には猛暑の中やっと飾り付け、家でほっとした束の間夕立の気配、急いで会員に召集をかけ雨除けビニールを掛けたが間に合わず鶴は既にビシヨビショ私たちもビショビショ。更に8月15日今度は台風が直撃との天気予報、雨除けビニールでは無理無理絶対無理！そこで苦労して飾り付けた鶴を全部取り外しブルーシートで包む対策となった。

台風が去った後は再び飾り付け。今度は雨除け無しでの鶴たち、風に吹かれて気持ち良さそうに揺れている。また太陽に照らされキラキラ輝いている。そのまま戦争が起きている地域へ飛んで行き、幼い子ども達の命を守ってほしい、報道で血だらけの子どもが運ばれて来るのを見ると心が痛みます。早く戦争が終結して子ども達の笑顔溢れる光景が見たいものです。

令和7年は戦後80年です。「平和を願う！折鶴の塔」の本舞台となります。その時は一人でも多くの人に見てもらい、私たちと一緒に「平和」を願っていただくようお願い致します。

台風の名前

中央四丁目豊友会　叶　森統

気象庁では毎年1月1日以後最も早く発生した台風を第1号とし、以後台風が発生した順に番号をつけています。日本列島に近づいた順番ではありません。また、一度発生した台風が衰えて熱帯低気圧になった後で再び発達して台風になった場合は、発生時と同じ番号を付けます。

戦後の台風には今のように番号ではなく、ジェーン台風(*1)、キティ台風(*2)、カスリーン台風(*3)など、米国が英語名(人名)を付けていましたが、平成12年(2000年)から北西太平洋または南シナ海で発生する台風には日本のほか14の国および地域が加盟する台風委員会(*4)が定めた名前(加盟国などが提案した名前)を付けることになりました。

平成12年(2000年)の台風第1号には、カンボジアで「象」を意味する「ダムレイ」という名前が付けられ、以降、発生順にあらかじめ用意された140個の名前を順番に用いて、その後再び「ダムレイ」に戻ります。台風の年間発生数の平年値は25.1個ですので、おおむね5年から6年で台風のアジア名が一巡することになります。

因みに、昨年(2023年)の台風1号(4月20日)は「サンヴー(Sanvu)」(マカオが提案した名称で、広東語でサンゴの意味)で、2017年の台風15号(8月28日)と同じ名前になります。

このように台風の名前は繰り返して使用されますが、各国に大きな災害をもたらすような台風は、加盟国からの要請を受けて、その名前を以後の台風に使用しないように取り決めています。

余談ですが、日本では台風は本土しか上陸しません。上陸は台風の目(気圧の一番低い所)が北海道、本州、九州、四国の陸地に達した時をいい、沖縄などの島嶼や小さい半島などは通過と呼びます。これは台風の目が沖縄本島より大きい場合があるためそのように定めてあるのです(*5)。

台風名を提案した国・地域とび呼び名、片仮名読み、意味の一例を挙げてみます。

No.	提案した国・地域	呼び名	片仮名読み	意味
1	カンボジア	Damrey	ダムレイ	象
2	中国	Haikui	ハイクイ	イソギンチャク
3	北朝鮮（*6）	Kirogi	キロギー	がん（雁）
4	香港	Yun-yeung	インニョン	カモの一種（オシドリ）。 香港で人気のある飲み物の名前。
5	日本	Koinu	コイヌ	こいぬ座、小犬
6	ラオス	Bolaven	ボラヴェン	高原の名前
7	マカオ	Sanba	サンバ	マカオの名所
8	マレーシア	Jelawat	ジェラワット	淡水魚の名前
9	ミクロネシア	Ewiniar	イーウィニャ	嵐の神
10	フィリピン	Maliksi	マリクシ	速い
11	韓国	Gaemi	ケーミー	あり（蟻）
12	タイ	Prapiroon	プラピルーン	雨の神
13	米国	Maria	マリア	女性の名前
14	ベトナム	Son-Tinh	ソンティン	ベトナム神話の山の神
⋮				
140	ベトナム	Saola	サオラー	ベトナムレイヨウ（*7）

(*1)ジェーン台風：昭和25(1950)年台風第28号。近畿地方や四国地方などに大きな被害をもたらした台風

(*2)キティ台風：昭和24年台風第10号。関東地方を襲った台風

(*3)カスリーン台風：昭和22年台風第9号。関東地方や東北地方に甚大な浸水被害をもたらした台風

(*4)台風委員会(The ESCAP/WMO Typhoon Committee)(略称：TC)は、北西太平洋または南シナ海で発生する台風防災に関する政府間組織。1968年、アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)及び世界気象機関(WMO)が共同で設立。アジアと極東における台風被害への対策策定と実施を任務とする。本部はマカオにある。

加盟国および地域は次のとおり。

中国・香港・日本・ラオス・フィリピン・韓国・タイ・カンボジア・マレーシア・ベトナム・マカオ・北朝鮮・シンガポール・アメリカ合衆国

(*5)台風用語の定義では

・台風の上陸：台風の中心が北海道・本州・四国・九州の海岸に達した場合を言う。

・台風の通過：台風の中心が、小さい島や小さい半島を横切って、短時間で再び海上に出る場合を言う。

と定められています。

(*6)北朝鮮：朝鮮民主主義人民共和国

(*7)羚羊(れいよう)：”かもしか”のこと

【参考：気象庁ホームページ】

文芸のひろば

俳句

善光明ジャンプ会　高橋　敦子
表札の子の文字薄れ翁雲

第一つきみ野会　大森　利憲
好物の菓子もち妣（はは）の墓参かな

第一つきみ野会　加藤　滋
生かされて迎ふ米寿や風薫る

宿喜楽会　坂口　賢治
気にするなそれ聞きたくて電話する

宿喜楽会　山梨　博文
暮れなずむ江の島銀波の果ての富士

松寿会　上野　勝昭
蝋梅や風まだ硬き民家園

桜友会　道明　和典
桜友会歳月重ね老い進む

桜友会　宮崎　文夫
天空にひと筋の雲秋を知る

桜友会　熊橋　芳美
寒暖の差に衣替えおいつかず

桜友会　高津　花枝
コバルトの空に浮んだ眞綿（まわた）雲

桜友会　小嶋　勇夫
秋もみじ曲りくねったいろは坂

桜友会　吹上　禮子
秋彼岸夫（つま）の好みの菊一輪

桜友会　道明　忠子
秋よ来い酷暑の夏に疲弊する

桜友会　中町　富子
稲刈りが済んで一息里の秋

桜友会　小高つや子
新学期眞（ま）っ黒（くろ）な顔笑みこぼれ

桜友会　安田ユキミ
お絞りは日本の文化おもてなし

南林間第一寿壮クラブ　小川　朝子
年の瀬に先祖を慕い墓参する

南林間第一寿壮クラブ　泉　榮子
そよ風にコスモスなびく秋が咲く

宮久保クラブ　科内　章平
終戦の我が孫あるは親の恩

若草クラブ　樋口　昌吉
鳥帰る千里の空を雲流る

若草クラブ　西村ふみ子
キャンバスに夏蝿一匹じりじりと

若草クラブ　鵜澤　靖
蒼い月そろそろ君の出番だぞ

山王原上喜楽会　宮下　保
貸農園ホッタラカシでカボチャ五個

高砂会　髙橋　賢司
病葉を寄せて楽しむ熊手アート

みよし会　柳川　清春
雪分けて新芽顔出すフキノトウ

上和田明和会　木野芙美子
散る早さ集う早さや稲雀

第二喜楽会　瀬沼せつ子
朝冷の吐く息白き身を寄せる

川柳

善光明ジャンプ会　高橋　敦子
不具合の徐々に増えゆる身鰻食う

善光明ジャンプ会　東山　和彦
コロナめを大昔だと感じてる

善光明ジャンプ会　鍵山　寛
通勤電車昭和は新聞令和はスマホ

松寿会　上野　勝昭
去年今年健康寿命持続中

千本桜千寿会　安部　典子
カレンダー印を付けて何だっけ

宿喜楽会　坂口　賢治
気のせいと歳のせいだと医者は言う

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

懲りもせずまた銭洗い春を待つ　宿喜楽会　山梨　博文

手助けが手助けされて福祉の日　桜友会　奥村　允子

稔る秋へのへのもへじ（案山子）起立して　桜友会　中町　富子

宰相が国費で巡る世界旅　桜友会　宮﨑　文夫

卒寿過ぎそっと紅さし若返える　桜友会　田中　貞子

カラオケで「君こそ命」妻に苦辞　桜友会　道明　和典

あの世から父が桟敷で彼岸場所　山王原上喜楽会　岩下　保

宝くじ当った夢の夢を見る　南林間第一寿壮クラブ　折田　道夫

歳なのか平らな路でまた転けた　第一寿楽会　橋浦　潔志

年金の私の財布は固結び　若草クラブ　森　美枝子

プーチンさんそろそろ手上げてちょうだいな　若草クラブ　鵜澤　靖

短歌

カラオケは昔憶えた流行歌「青い山脈」「お座敷小唄」　桜友会　安田ユキミ

巣立ち行く希望に満ちたひな鳥よ羽ばたけ空へひかり輝け　桜友会　富﨑　文夫

カラオケのサークル名は「さくらんぼ」月に一度ののど自慢会　桜友会　大内　勝子

五月晴れ大和まつりのパレードにひときは目を引く阿波踊り連　桜友会　小嶋　勇夫

露天風呂しっとり雨に身をまかせ雲の切れ間に満天の星　宮久保クラブ　科内　章平

百姓の真似事をして欲もなく鬢糸茶畑の感吾も歩むか　山王原上喜楽会　岩下　保

啓蟄に合せる様にアリの群れ土の中にも春の足音　みよし会　柳川　清春

猛暑日にエアコン全開涼取るもオリンピックの熱気に負けて　若草クラブ　吉田　祐三

編集後記

明けましておめでとうございます。今回も皆様からのたくさんの原稿ありがとうございました。今年も多くの方に喜ばれる広報誌「ゆめクラブ大和」にしていきたいと思います。

宜しくお願いいたします。

原稿募集

次号「ゆめクラブ大和」87号に原稿をお寄せください。

★クラブ活動記、随想、旅の思い出、健康・介護に関することなど。俳句、短歌、川柳は一人各々一句または一首。

★文字数は800字（原稿用紙2枚）以内とし、写真を添付しても結構です。

★必ず、クラブ名、ご氏名を記載願います。

〈次号発行〉
2025年7月25日㈮

〈締切日〉
2025年5月9日㈮

〈応募方法〉
必ず各単位クラブの会長を通して市シニア連事務局へ提出願います。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

令和6年度　ゆめクラブ大和 秋季親睦旅行〈山梨県下部温泉〉

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報誌に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本誌は誌面を通じて会員の交流･情報交換はもとより、地域の皆様にシニアクラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【大和市シニアクラブ連合会】

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています